

新しいまちづくりのための 町民アンケート調査結果 まとまる!!

皆さんからお寄せいただいた貴重なご意見は、第5次総合計画策定の基礎資料として活用します。

私たちの町は、平成14年度からスタートした「第4次総合計画」により、各種のまちづくりを進めていますが、この計画が今年度をもって終了することから、現在「第5次総合計画」の策定を行っています。

この計画は、刻々と変化する時代背景や本町の特長、課題などを踏まえ、将来の新十津川町をどのようなまちにしていくのか、また、そのためにどのような取り組みを行うのかを明らかにするものです。

新たな計画づくりは、町民の皆さんの参加機会を確保し、町民の目線に立って進めることとしており、その取り組みの一つとして、1月にまちづくりに対する意見や要望を伺うアンケート調査を行いました。

今回、その結果がまとまりましたので、主な内容をお知らせします。

町民アンケート調査は、町内に住む18歳以上の町民2,000人を対象に実施し、903人から回答をいただきました(回答率45.2%)。アンケート調査にご協力いただきました皆さんに心からお礼申し上げます。

「自分のまち」としての愛着がありますか？

新十津川町に対して「愛着を感じている」が78・8%、「愛着を感じない」は5・2%。

まちへの愛着度については、とても愛着を感じている(39・9%)の回答が第1位、どちらかというと愛着を感じている(38・9%)の回答が第2位で、これらを合わせた「愛着を感じている」割合は78・8%となっています。

これに対しあまり愛着を感じていない(3・3%)、愛着を感じていない(1・9%)

を合わせた「愛着を感じない」とする割合はわずか5・2%となっています。全体的にみて町民のまちへの愛着度は高いことがわかります。



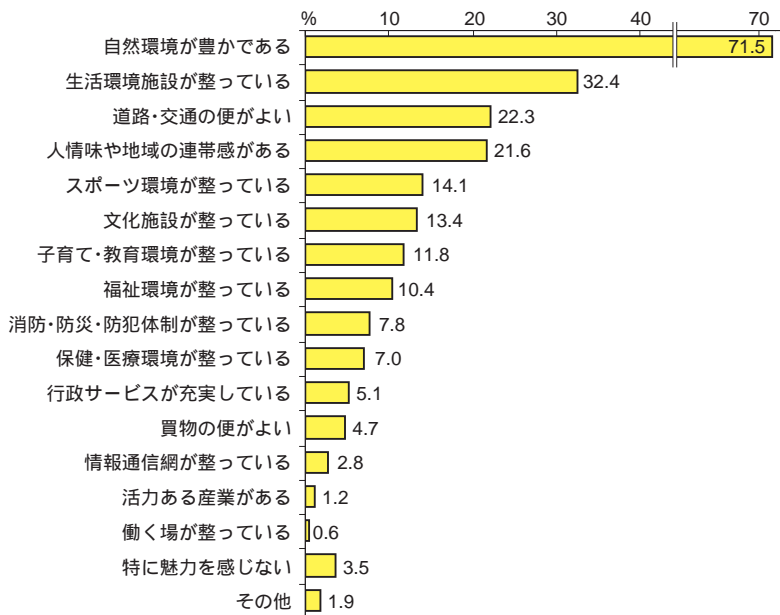
新十津川町の魅力は何ですか？

新十津川町の魅力の第1位は「自然環境が豊かである」。次いで「生活環境施設が整っている」。

まちの魅力については、自然環境が豊かである(71・5%)が2位以下を2倍以上引き離して第1位となっています。次いで生活環境施設が整っている(32・4%)、道路・交通の便がよい(22・3%)、人情味や地域の連帯感がある(21・6%)が2位から4位までの上位を占めています。一方、働く場が整っている

(0・6%)、活力ある産業がある(1・2%)、情報通信網が整っている(2・8%)、買物の便がよい(4・7%)が下位となっており、全体的にみて町民は、自然環境や生活基盤に関して魅力を感じていますが、就業基盤や生活の利便性などにあまり魅力を感じていないことがうかがえます。





新十津川町の魅力は何ですか？（回答数 903）

新十津川町に住み続けたいですか？

「住みたい」が76・2%、「住みたくない」は4・5%、「どちらともいえない」は18・1%。

今後の定住意向については、**住みたい**（50・5%）が第1位、**どちらかといえば住みたい**（25・7%）が第2位で、これらを合わせた76・2%の人が「住みたい」という意向を示しています。これに対し、**どちらかといえば住みたくない**（3・3%）と**住みたくない**（1・2%）を合わせた4・5%の人が「住みたくない」と答えています。**どちらともいえない**は18・1%でした。

町内定住を決めかねている割合の多い層は、年齢別にみた**18〜29歳**（37・7%）、職業別で**みた学生**、**その他**（37・0%）となっています。

住みたくない理由は何ですか？

「買物の便が悪い」が第1位を占め、「道路・交通の便が悪い」と「働く場が不十分」が第2位と第3位。

「住みたくない」と回答した人にその理由を聞いたところ、

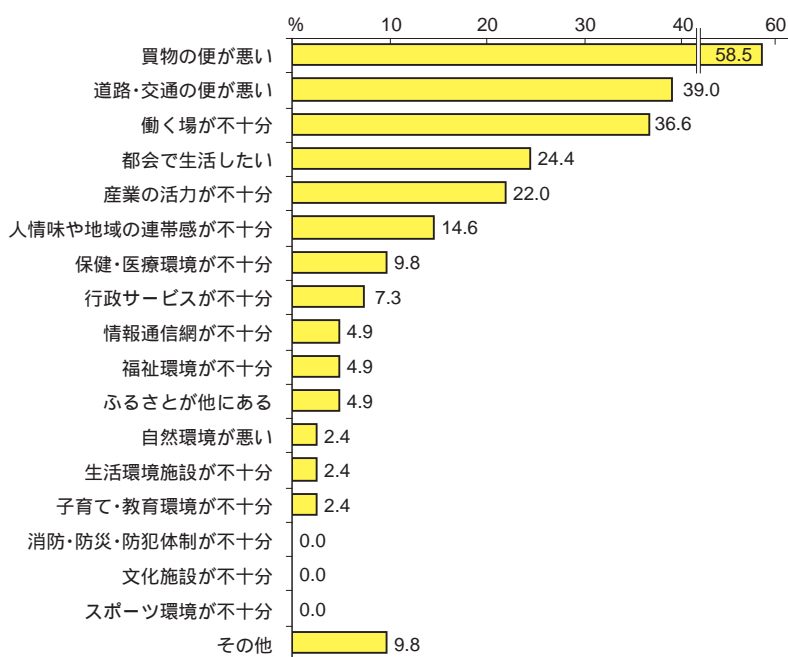
買物の便が悪い（58・5%）が高率で第1位となっており、**道路・交通の便が悪い**（39・0%）と**働く場が不十分**（36・6%）が第2位と第3位に

なっています。

さらには**都会で生活したい**（24・4%）、**産業の活力が不十分**（22・0%）などが上位となっています。

なお、第6位となっている**人情味や地域の連帯感が不十分**

分（14・6%）については「新十津川町の魅力は何ですか？」で第4位（21・6%）になっており、町民の評価が分かれるところとなっています。

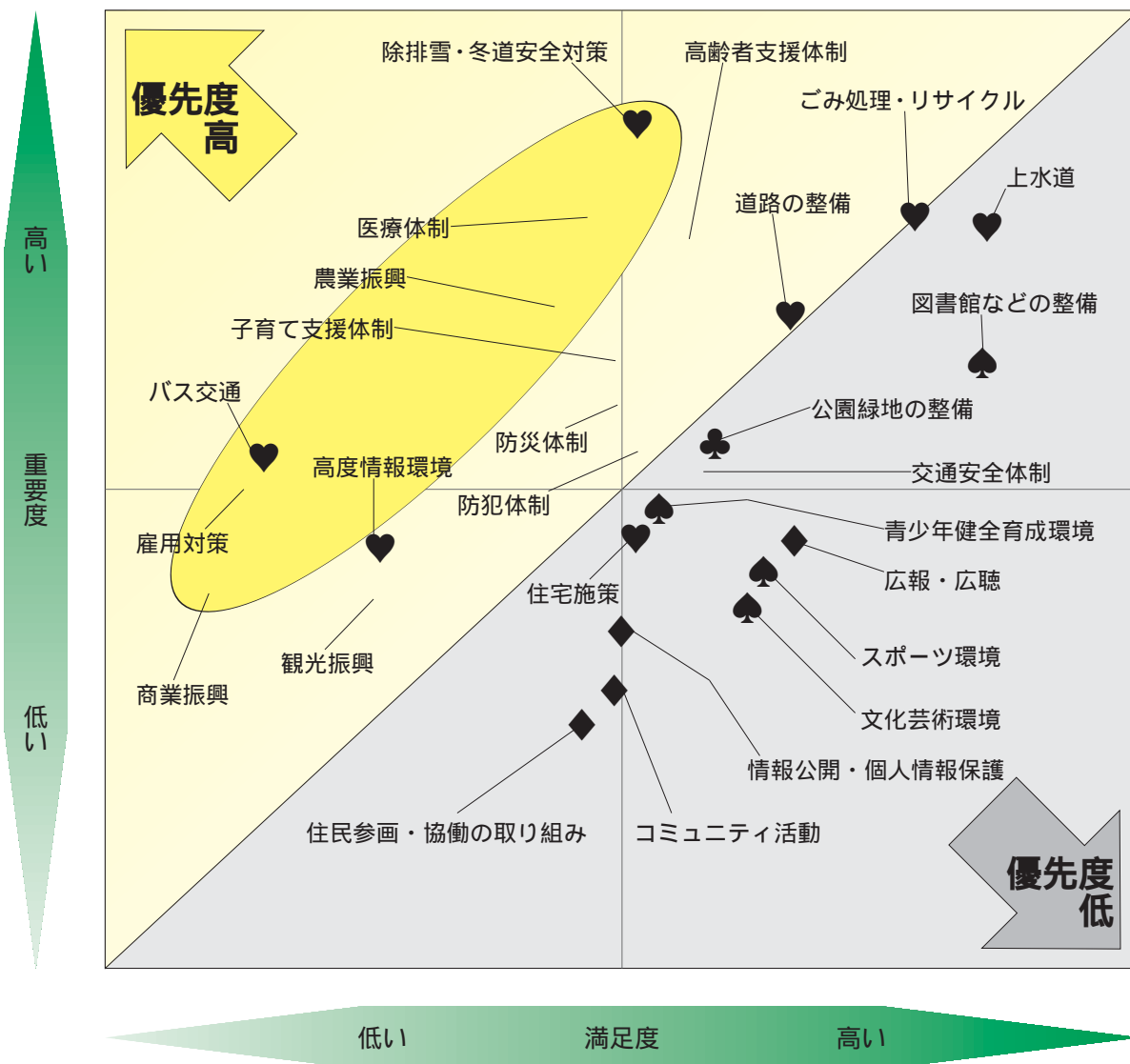


住みたくない理由は何ですか？（回答数 41）

今後、優先的に取り組むべき事項は何ですか？

優先度が高いと評価されるまちづくり項目の上位は、「バス交通」「除排雪・冬道安全対策」「雇用対策」「医療体制」「商業振興」「農業振興」。

まちづくりに関する各施策の満足度と重要度の関係から、皆さんが、今後、優先的に取り組んでほしいと考えている分野をグラフ化したものが下の図です。

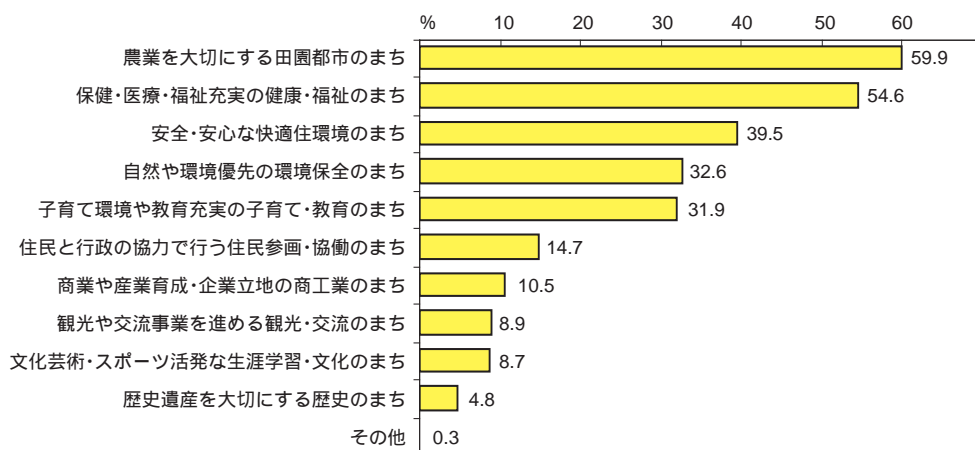


	区 分	記号
1	産業振興・雇用対策	
2	保健・医療・福祉対策	
3	防災・防犯など安全対策	
4	教育・文化・スポーツ	♠
5	住環境対策	♥
6	環境保全	♣
7	住民参画・コミュニティ	◆



どのような特色のあるまちにすべきだと思いますか？

全体平均では、農業を大切にす**る田園都市のまち**が第1位、年齢別でみた30代では「子育て・教育のまち」が第1位。



どのような特色のあるまちにすべきだと思いますか？（回答数 903）

今後のまちづくりの特色・重点方向については、農業を大切にす**る田園都市のまち**（59.9%）と**保健・医療・福祉充実の健康・福祉のまち**（54.6%）が高率で第1位と第2位を占めています。次いで、**安全・安心な快適住環境のまち**（39.5%）、**自然や環境優先の環境保全のまち**（32.6%）、**子育て環境や教育充実の子育て・教育のまち**（31.9%）などが上位を占めています。

一方で、このまちに住みたくない理由や不満の比率が大きかった**雇用対策や商工・観光業の振興に直結すると思われる商工業のまち、観光・交流のまち**は下位にとどまっています。本町としては**農業のまち、福祉のまち、生活者のまち**を優先すべきとする考えの強いことがうかがえます。

今後、整備が必要な施設は何ですか？

特に必要な施設整備は「**高齢者福祉施設**」が第1位。次いで「**商店街**」「**街路灯**」「**防犯灯**」。

特に必要な施設整備については、**高齢者福祉施設**（44.0%）が第1位となっています。次いで、**商店街**（31.6%）、**街路灯**、**防犯灯**（25.0%）、**道路の改良**、**舗装**（18.8%）、**公園**、**子どもの遊び場**（15.8%）などが上位となっています。



「住民参画・協働のまちづくり」を進めるために行政として必要なことは何ですか？

住民参画、協働を進めるために必要なこととしては、「**広聴活動**」と「**広報活動**」の充実。

住民参画・協働のために必要なことについては、**広聴活動の充実**（39.4%）や**広報活動の充実**（32.6%）が第1位と第2位を占め、次いで、**各種事業への支援の充実**（27.5%）、**地域活動・ボランティア活動の活性化**（22.8%）、**公共施設管理等への住民・民間参画の促進**（17.8%）、**N**

PO等の育成・支援（16.3%）などが上位で続いています。なお、**住民参画・協働のまちづくり**には必要ないものは1.1%でした。

問合せ 総務課まちづくり推進グループ ☎76・2131